夜明け

キリストの御臨在の使徒

ドーン誌

2025年1月

目次

夜明けのハイライト 2

神の未来の正しい行政 2

国際聖書研究 24

神は謙虚な者に耳を傾けられる 24
主の威厳 28
慈悲の神 32
永遠の王国 36

聖書の引用箇所を調べてください！

神の未来の正しい行政

見て、正しい王がやって来る！
そして、誠実な王子たちが彼のもとを治めるだろう。
イザヤ書32:1

2025年1月20日、ワシントンDCの国会議事堂の階段で、第47代アメリカ合衆国大統領の就任式が行われる。その時、ドナルド・トランプは、多くの人々が地球上で最も強力で影響力のある国家だと感じている、選挙で選ばれた指導者になる。2016年に当選し、2020年にはジョー・バイデン現大統領に敗れ、2期目の大統領となる。そのため、トランプ次期大統領は、2期連続で当選し、その間に敗北を喫した2人目の米国大統領となる。他の例は19世紀後半のグローバー・クリーブランド大統領である。

異例の選挙サイクル

最近終了した選挙サイクルは、控えめに言っても、状況や出来事において最も異例なものだった。まず、2020年に苦杯をなめたトランプ前大統領が再出馬するかどうかという問題があった。2022年11月に2期目への立候補を表明したことで、これは比較的早い段階で答えが出た。その5ヵ月後の2023年4月、バイデン大統領が2期目の出馬を表明した。これにより、両候補がホワイトハウスで2期目の選挙キャンペーンを行うことになった。

バイデンとトランプは、2023年の残り期間から2024年にかけて選挙キャンペーンを始めたが、当然ながら、立候補者の間では当たり前になっている政治的レトリックを展開した。それぞれが在任中のそれぞれの記録を宣伝し、他方を厳しく批判した。また、両者とも有権者に対し、もう一方の候補に投票することは、国と世界に恐ろしい結果をもたらすに違いないと繰り返し警告した。

バイデン大統領の年齢と精神的な鋭敏さに関連した、選挙戦における2つ目の異例な出来事が徐々に起こった。選挙戦が2024年の夏に向かって進むにつ

れ、バイデン大統領が報道陣や一般市民に対して発言する際に、うっかり混同してしまうことが何度もあったことから、当時81歳、現在82歳という彼の年齢（
）が進むことが懸念されると多くの人が考えるようになった。これは、6月27日にバイデンとトランプが選挙戦初のテレビ討論を行ったときに悪化した。その後、両党のほぼすべての政治評論家が、バイデン大統領の討論会のパフォーマンスは非常に弱かったと認めた。

そして、討論会から1カ月も経たない2024年7月21日、バイデン大統領は大統領2期目への立候補を取りやめることを表明し、後任としてカマラ・ハリス副大統領を支持することを発表した。ハリス副大統領は、そのわずか15日後の8月5日、バイデン大統領を支持していた代議員による点呼投票によって、民主党の指名を正式に獲得した。

3つ目の異常事態は、トランプ前大統領をめぐって、7月と9月の2回に分けて暗殺未遂事件が発生したことである。
、1回目の暗殺未遂事件では、トランプ前大統領は

右耳に軽傷を負った。回目の暗殺未遂は、容疑者が実行に移す前に阻止された。これらの暗殺未遂事件はいずれもトランプ氏の支持基盤を固めるものであったが、同時にバイデン大統領の辞退を受けてハリス候補も確固たる支持を得た。

大統領選挙戦が最後の2ヶ月に入り、選挙前の世論調査ではほとんどが大接戦を予想していた。9月10日、ハリス副大統領とトランプ前大統領は選挙期間中最初で唯一の討論会を行った。この討論会での彼女のパフォーマンスを受けて、ハリスの世論調査の数字は数ポイント上昇した。しかし、時間が経つにつれ、世論調査は再び拮抗し、11月に向けてトランプ氏がわずかにリードしているという世論調査もあった。

いよいよ選挙

11月5日、待ちに待った選挙が行われた。1億5千万人以上の人々が次期大統領を選ぶために全米の投票所に足を運んだ。開票が終わると、東部から西部にかけて、各州から結果が出始めた。選挙の夜が更けるにつれて、
、トランプ前大統領が多くの世論調査の予測よりも

はるかに健闘していることが明らかになった。この傾向は維持され、翌朝にはほとんどの報道機関がトランプ氏の勝利を宣言し、次期大統領となった。

その後数日間、残りの票が集計された結果、ドナルド・トランプが50州のうち31州を制し、312票の選挙人団票を獲得したのに対し、カマラ・ハリスは19州を制し、226票の選挙人団票を獲得した。最新の集計では、トランプは一般投票でも250万票弱を獲得し、7600万票以上を獲得した史上初の共和党候補となった。

未来は？

そこで私たちは問う：次の4年間はどうなるのか？新大統領は選挙公約を守れるだろうか？少なくとも今後2年間は共和党が支配することになる議会は、トランプ大統領のアジェンダに沿った法案を通過させることができるのだろうか？もちろん、これらは現時点では未解決の問題である。しかし、もし過去の歴史が何らかの指標になるのであれば、どちらの党の候補者が掲げた公約の大半は、
、大統領になった後は、道半ばで終わるか、党派政治によって薄められるかのどちらかである。

しかし、キリストに従う者にとっては、聖書に目を向けなければならない。聖書には、私たちが生きている時代が混乱と悩みの時代であることを示す多くの預言が記されている。(ダニエル12:1、マタイ24:21）。このため、クリスチャンの関心は、「誰が」大統領になったか、また、彼らが打ち出した政策に個人的に賛成するか反対するか、ということに向けるべきではない。むしろ、その時々の国々の指導者が誰であろうと、神が人類に対する長期的な計画と目的を実現させるために、地上のすべての事柄を支配しておられるという事実を考えるべきである。

神の計画とは何か？簡単に言えば、最初の両親が罪に陥って以来、人類を苦しめてきた罪と死の状態から、過去も現在も、死者も生者も、あらゆる国の人類を救い出すことである。私たちの愛する神の願いは、"すべての人が救われ、真理を理解することを望んでおられる方
"である。(1テモテ2:4）。このことは、聖書がはっきりと指摘しているように、男性や女性の管理によるのではなく、御子、私たちの主であり救い主であるイエス・キリスト以外の誰でもない、正しい
管理によるのである。

聖書的新政権

聖書を学ぶ私たちの最大の関心は、神の御言葉に約束された新政権にある。この政権もまた、「選挙」、より正確には「選別」を必要とする。この選出は、メシアであるイエスから始まった。預言者イザヤはイエスを指してこう言う。彼はわたしに選ばれた者、わたしを喜ばせる者である。わたしは彼にわたしの霊を置いた。彼は諸国民に正義をもたらす。(イザヤ42:1）。神の「選民」には、ペンテコステの日以来のイエスの忠実な信奉者も含まれる。使徒ペテロは、これらの人々についてこう語っている。「あなたがたは、神が召され、選ばれた者たちの中に本当にいるのだということを証明するために、懸命に働きなさい。そうすれば、決して挫折することはありません。"2ペテロ1:10

新約聖書には、この選びについて次のような記述がある：「神が愛する聖なる民となるためにあなたがたを選ばれたのですから、あなたがたは、心優しいあわれみ、親切、謙遜、柔和、忍耐を身にまとわなければなりません。"、"神がご自分のために選ばれた私たちを、あえて非難する者があろうか。"（コ

ロサイ人への手紙　　3:12、ローマ人への手紙8:33）。(コロサイ
3:12、ローマ8:33）。これらの人々は、"天の召しにあずかる者
"として神によって選ばれており、"父なる神の予知に従って選ばれた者
"である。(ヘブル3:1；1ペテロ1:2）。神は、イエスを通して、"御使いたちを遣わし、地の果てから天の果てまで、四方から御自分の選民を集める
"ときに、選民のプロセスを完成されるのである。マルコによる福音書13章27節

こうして、神の選びの業は終結する。地上のすべての家族を祝福する新政権の働きは、キリストが
"義の太陽が翼に癒しをもって昇る
"ときに起こると描写されている。(マラキ4:2）。それは、回復された完全な地球で従順に生きたいと願うすべての人に、喜びと平和と永遠の命をもたらすだろう。すべてはこの新しい政権によって成し遂げられ、人類家族のために、愛、憐れみ、正義、知恵、力という神の素晴らしい人格的属性に基づいて実行される。

管理の意味

administrationという言葉の辞書的定義は、「管理する行為または過程；行政任務の遂行；公務の執行；管理する人の組織（
）」である。動詞の形である "管理する
"は、"管理する、監督する、分配する、奉仕する、管理する、実行する
"と定義されている。完全に献身したキリスト信者は、現在のクリスチャンの歩みの中で、この方法を学ぶ。

この新政権は、"選民
"の一員になろうと努力する者たちが、将来の仕事のために現世できちんと準備することを求めている。それは、「この世の行動や習慣を真似てはならない」ということではなく、「神があなたの考え方を変えることによって、あなたを新しい人に変えてくださる」ということである。ローマ12:2

クリスチャンとして、私たちは天の御父を心から愛するべきであり、それゆえ、聖書における管理者と行政官の定義に関心がある。新約聖書には、管理という言葉が2回出てくるが、これはギリシャ語の

"diakonia
"から訳されたもので、ミニストリーや奉仕という意味である（1コリント12:5、2コリント9:5）。(1コリント12:5;
2コリント9:12)。第2コリント8:19と20に見られる動詞形administerは、ギリシア語の "diakoneo
"から来ており、これは奉仕や奉仕を意味する。英語のdeacon（助祭）
はこのギリシャ語に由来し、宣教する者、仕える者と関係している。イエスはまた、弟子たちに奉仕の教えを授ける際にもこの単語を用いられた。マルコによる福音書10章45節

多政

コリントの信徒への手紙一12章5節で、使徒パウロは言う。"奉仕にはさまざまな種類がありますが、私たちは同じ主に仕えています"。クリスチャンの奉仕には確かにさまざまな種類があるが、神はそのすべてを指示しておられる。パウロはここで、献身的なクリスチャン一人ひとりが、主にささげるべきもの、主の奉仕に用いられるべき才能を持っていることを暗示している。私たちが自分自身をささげるのは、キリストのからだの中で互いに建て上げるた

めなのです。(ユダ1:20、1コリント12:12、25、27）。そうするとき、私たちは天におられる父を敬うのです。キリストのからだのさまざまな成員は、この管理職としての役割を果たすための訓練において、互いに協力し合い、互いの不完全さ、欠点、弱さを相殺し、補い合うことを学ばなければならない。私たちは、イエスとひとつになることによって、このことを学ぶのである。イエスは私たちを招いておられる：「私のくびきを負いなさい。わたしのくびきは負いやすく、あなたがたに与える重荷は軽いからである。"（マタイ11：29,30）。(マタイ11:29,30）。この結びつきの中で、私たちはキリストのからだ（
）における交わりの特権と、他のからだのメンバーとの協力の仕方について学ぶ。

私たちは、まさにキリストと共にある "くびき仲間"なのだ。パウロはフィリピの信徒への手紙4章3-4節でこう語っている。彼はその考えをこう締めくくっている。もう一度言います。キリストの家族に属する者は皆、愛と交わりという一つの絆で結ばれているのだから。そうすれば、兄弟たちと共通の関心を持ち、彼らに対する信頼、共感、調和を持つこ

とができる。これは、神の王国の間に人類の世界が受ける訓練と同じである。そのとき、すべての人は、御父の新しい統治のもとで、御父に栄光と賛美と誉れを捧げることを学ぶだろう。

選挙プロセスの資金調達

現世の選挙プロセスでは、新政権のための選挙運動に資金を提供するために富が必要とされる。候補者の資質や、多くの場合、対立候補の欠点や弱点を知らしめるために広告が必要となる。興味深いが、信じがたいことかもしれないが、最近終了したアメリカ大統領選挙キャンペーンには、合わせて
、159億ドルが費やされたと推定されている。新しい正しい政権を準備するための神の選挙プロセスは、なんと異なっていることだろう。イエスが言われたように、富は妨げになる：「金持ちが天の御国に入るのは非常に難しい。マタイ19:23

対照的に、パウロは、福音を広める働きをしている自分自身とその共同労働者について、「私たちは貧しい者ですが、霊的な富を他の人々に与えています。(2コリント6:10)。これらの忠実な神の僕たちは、希望、信仰、愛、そして神が豊かに与えてくださ

る様々な神の恵みにおいて、多くの人々を豊かにした。「エルサレムの信徒たちの必要を満たし、喜びをもって神に感謝を表すのである。
(2コリント9:12)。使徒は続けて、エルサレムの兄弟たちが神をあがめるのは、"彼らとすべての信者に対するあなたがたの寛大さのためである"
13節と述べている。

犠牲の必要性

新しい、正しい、王国の統治のための私たちクリスチャンの訓練のもう一つの部分は、真理と正義の大義のために、犠牲を払うこと、
、あるいは命を捨てることである。私たちはこれを特権と考えるが、世間は犠牲を異なる目で見ている。ある人々にとっては、犠牲は狂信的なものであることを意味し、実際、多くの狂信的な殉教者がいる。

イエスに従う真の者たちは、一日一日、一時間一時間、一体験一体験、与えられたすべての機会において、神に犠牲を捧げ続ける。私たちは、自分の小さなすべてを捧げるのだ。私たちの犠牲は小さいかもしれないが、燃え尽きるまで、燃え尽きるまで、燃

え尽きるまで、燃え尽きるまで、燃え尽きるまで、燃え尽きるまで、燃え尽きるまで、燃え尽きるまで、燃え尽きるまで、燃え尽きるまで、燃え尽きるまで、燃え尽きるまで、燃え尽きるまで、燃え尽きるまで、燃え尽きるまで。

クリスチャンの犠牲と苦しみは、使徒パウロが"苦難を耐え忍ぶなら、彼とともに君臨する"と言ったときに、私たちのために明確に描かれている。(2テモテ2:12）。私たちはまた、"勝利した者は、わたしとともにわたしの王座に座る"と約束されている。(黙示録3:21）。召された者たちが天の領域で分け前を与えられ、死に至るまで忠実であれば、栄光と誉れと不死へと引き上げられることは、なんと幸いな特権であろうか。(ローマ2:7、黙示録2:10）。「神は、あなたが必要とするすべてのもの（
）を惜しみなく与えてくださる。そうすれば、あなたがたはいつも必要なものをすべて持ち、他の人たちと分かち合うために十分なものを残しておくことができる。"2コリント9:8

私たちのクリスチャンとしての歩み全体を通して、このように宣教し、奉仕すること、そして自分のす

べてをささげたいという願いは、パウロがテモテにこう言っている。あなたの進歩が皆に分かるように、自分の仕事に打ち込みなさい。"（1テモテ4:15）。
(1テモテ4:15)。捧げることの最初のレッスンは、天の父に心を捧げることであったが、これはすべてを捧げることにつながる歩みの始まりに過ぎない。パウロはテモテに、"満ち足りる真の敬虔は、それ自体大きな富です"（テモテへの手紙第一6章6節）と語っている。(1テモテ6:6）。それは、信仰、徳、知識、節制（自制心）、忍耐、兄弟愛、そして最も重要な愛と並ぶ、クリスチャンの梯子の重要なステップのひとつである。2ペテロ1:4-8

このような愛は、聖霊の助けによって育まれなければならず、偽善的であってはならない。それは本物の、心からのものでなければならないし、奉仕や言葉によって表現されるものでなければならない。詩篇の作者は私たちのためにこう語っている。"主よ、わが岩、わが贖い主よ、わが口のことばとわが心の黙想とが、あなたに喜ばれますように"。(詩篇19:14）。この
の愛は、神、その御子キリスト・イエス、キリスト

にある私たちの同胞に対するものであり、世に対する、さらには私たちの敵に対する憐れみ深い愛を伴っている。

パウロは、この愛についてさらに次のように書いている。あなたがたの根は神の愛の中に伸び、あなたがたを強く保つでしょう。そして、神の愛がどれほど広く、どれほど長く、どれほど高く、どれほど深いものであるかを、神のすべての民がそうであるように、あなたがたも理解する力を持つことができますように。キリストの愛はあまりにも偉大で、完全に理解することはできないが、あなたがキリストの愛を経験することができますように。そうすれば、あなたがたは、神から与えられるすべての満ち満ちたいのちと力によって、完全な者とされるでしょう」。エペソ3:17-19

よろこびつたえる

この未来の管理のための私たちの訓練のもう一つの側面は、良い知らせ　"御国についての良い知らせ"を広めることにある。(マタイ24:14）。パウロは、イザヤ書52章7節を一部引用してこう書いている。しかし、主を信じないで、どうして主を呼び求め

ることができようか。主について聞いたこともないのに、どうして主を信じることができようか。また、だれかが彼らに告げなければ、どうして彼について聞くことができようか。また、だれかが遣わされることなく、どうして行って伝えることができようか。だから聖書は言うのだ。"良い知らせを伝える使者の足は、なんと美しいことか。ローマ10:13-15

イエスの力

王国の統治が現実のものとなるとき、こうして訓練された者たちは神に用いられるだろう。全人類のための回復計画を著し、奇跡を起こす力によってその成功を保証するのは神である。イエスはその計画の支配者であり、人々によって選ばれたのではなく、神によって選ばれた。イエスは20世紀近く前に地上におられたとき、敵に殺されましたが、神の力によって死者の中からよみがえらされたのです」（ピリピ2:7-11）。(ピリピ2:7-
11）。復活後、イエスは弟子たちにこう告げた。"わたしには、天においても地においても、すべての権威が与えられている。"マタイ28:18

イエスに与えられた　　"すべての権威"を用いて、イエスは地上の人々に対する神の支配を確立することに何の困難も感じないだろう。ペンテコステ以来、イエスとともに苦しみ、死んできた忠実な信奉者たちが、その支配の中でイエスと共にある。彼らもまた、聖書（　）が　"最初の復活"と表現しているように、死者の中からよみがえらされ、イエスとともに神の統治を受けるのである。黙示録20:6

使徒ペテロが「新しい天と新しい地、そこには義が宿る」と語っているように、これらは新しい社会秩序における目に見えない霊的支配者となる。(第2ペテロ3:13）。彼らの人間的な代表は、過去の時代の復活した古代の価値ある者たちであり、その最初の者が正しいアベルであり、最後の者がバプテスマのヨハネである。これらもまた、「全地の君主」として、新しい王国が罪と死への束縛から人々を解放する準備が整う直前に死からよみがえる。(詩篇45:16、イザヤ32:1、ヘブル11:1-
40）。しかし、最も重要なことは、神の奇跡を起こす力が、人々と国々の現在の問題を解決する神の計画の成功を保証するということである。

神の王国（政府）におけるこれらの古代の価値ある者たちは、キリストの権威の下で直接機能する。彼らは皆、キリストが人々を裁き治める正しい原則（）と心から調和する。これらの原則はなんと素晴らしいことだろう！

イエスは、その神の政府でイエスとともに働くことになる人々のさまざまな対立する要素や多様な利害をなだめる必要はない。政党政治」も「ロビー活動」もない。イザヤが預言したように、"イエスは、その目で見て裁くこともなく、その耳で聞いて戒めることもない"。(イザヤ11:3）。地球の新しい王として、イエスは人の心を読むことができ、その心の奥底にある思いを知り、理解される。選民」を通して、公言していることではなく、その人の心の中に本当にあることに従って人々を扱うようになる。このことが行政にどのような変化をもたらすか、想像してみてほしい！

"彼は義をもって貧しい者を裁き、地の柔和な者のために公平をもって戒めるであろう"。(4節）。こ

の正しい王の支配の下で、全人類の正当な欲望が満たされる。

全員が受益者

貧しい者、柔和な者は、その時、自分たちの代弁者を持つことになる。ダビデはこの来るべき
王についてこう書いている：「彼は、貧しい者が彼に叫ぶとき、彼らを救い出し、彼らを守る者のない虐げられた者を助ける。彼は、弱い者、貧しい者を憐れみ、彼らを救う。彼らの命は彼にとって尊いからである。"詩篇72:12-14

この詩篇の11節にはこうある：「すべての王は彼の前にひれ伏し、すべての国は彼に仕える。偉大で力ある者も、柔和で謙遜な者も、この新しい王の美徳と資質を認めるだろう。彼は富める者を甘やかし、貧しい者を搾取することはない。また、貧しい者を高めて富める者を滅ぼすこともない。
誰もが公平に、公正に扱われる。

キリストの支配の効果を表す象徴のひとつに、谷は高くなり、丘は低くなるという描写がある。(イザヤ40:4、ルカ3:5）。これは、地上のすべての恩恵

が公平に分配され、神が「全地にわたってすべての国民を創造された」（使徒17:26）という認識を示している。神の立場からは、公爵や領主は存在せず、小作人や貧民も存在しない。

それ以上に素晴らしいのは、主の政府が
、民に健康と命を与えるという事実だ。「イスラエルの民はもはや、「私たちは病んでいる。(イザヤ33:24）。これが、神がイエスの敵がイエスを死に至らしめることを許された理由であり、イエスが自ら進んで死に身を委ねられた理由である。それは、イエスの支配権が瀕死の民族の上にあるのではなく、生命を回復しつつある民族の上にあるようにという神の計らいの一部であった。(使徒3:20と21、1コリント15:22）。それゆえ、人類を死から贖うためには、まずイエスが死ぬことが必要だった。パウロは、イエスは「すべての人のための身代金」としてご自身を捧げられたと書き、さらにこう付け加えた。1テモテ2:5-6

イエスは初降臨のときにご自分を身代金として捧げられたが、このことに関する輝かしい真理が証しされるのは、すなわちすべての人に知られるようにな

るのは、イエスの再臨のときである。この定めを知ったとき、キリストを通して神の恵みを受け入れ、「その肩」の上にある「政府」の掟に従う者は皆、死ぬ必要がなくなる。(イザヤ9:6と7）。彼らは完全な存在に回復され、永遠に幸せに生きる。私たちは、この義と祝福といのちの未来の統治を、どれほど待ち望んでいることだろう！

国際聖書研究
1月5日のレッスン

神は謙虚な者に耳を傾けられる

キー・ヴァース「主よ、あなたは無力な者の望みを知っておられます。きっとあなたは彼らの叫びを聞き、彼らを慰めてくださいます。"
詩篇10:17

厳選された聖典
詩篇10:12-18

この2025年国際聖書研究シリーズを、1月のキー・ヴァースすべてを詩篇から取り上げることによって始めることができるのは、祝福に満ちたことです。詩篇は、私たちの神であり創造主であるエホバに対する知恵、慰め、励まし、献身、心からの賛美の豊かな宝庫です。今日のテーマ
"神はへりくだる者に耳を傾けられる
"は、キー・ヴァースからきています。それは、主

がへりくだる者の願いを聞き、そのために彼らの心を整えてくださるという事実を認めるものです。主は彼らに何を与えようとしておられるのか？-
と聞くと、18節はこう答える。神は彼らのために、また父を失い、虐げられている人々のために正義を行われる。この節で特定されている「地の人」
、もはや彼らを虐げることは許されない。

私たちのレッスンの13節によれば、圧制者たちは神をあざけり、神は彼らの悪行について説明することを求めないと言っているが、神は必ずそうされるのである。「神の正義をあざ笑うことはできない。自分の植えたものは必ず収穫される。自分の罪深い性質を満たすためだけに生きる者は、その罪深い性質から腐敗と死を収穫する。しかし、御霊を喜ばせるために生きる者は、御霊から永遠の命を収穫するのです。"ガラテヤ6:7-8

愚か者だけが、心の中で『神などいない』と言う。彼らは堕落し、その行いは悪である"。(詩篇53:1）
。悪人たちは、自分たちが犯した罪を償う必要があることを否定するが、審判の日は必ず来る。神は、「今、すべての人に悔い改めるように命じておられる。なぜなら、神が定められた方によって、義をも

って世を裁かれる日を定められたからである。神は、この方を死者の中からよみがえらせることによって、このことをすべての人に確信させたのである」。詩篇10:12-16、使徒17:30、31

このレッスンの18節にある "地上の人"という表現は、希望が天にある人たちとは対照的である。地上の人、神が大切にされるものに関しては、視野が狭い。彼らは目標を達成するために、ごまかし、盗み、嘘をつき、威圧することを良しとする。一方、クリスチャンはこうした地上の本能と戦い、天の心を求める。イエスの戒めに従い、彼らは真の宝がどこにあるかを知っている。「蛾に食われ、錆に滅ぼされ、盗人が押し入って盗むような宝を、この地上に蓄えるな。蛾が食い、さびが滅ぼし、盗人が押し入って盗むことのない、天に宝を貯めなさい。あなたの宝があるところには、あなたの心の願いもある。"マタイ6:19-21

ヤコブは教えてくれた：「神は高ぶる者に反対されるが、へりくだる者には恵みを与えられる。だから、神の前にへりくだりなさい。悪魔に抵抗しなさい

。そうすれば、悪魔はあなたから逃げて行きます。神に近づきなさい。そうすれば、神はあなたがたに近づいてくださる。手を洗いなさい、罪人たちよ。心を清めなさい。あなたがたの忠誠心は、神と世との間に分かれている。...笑いの代わりに悲しみを、喜びの代わりに憂いを。そうすれば、主はあなたがたを誉めてくださるであろう。「ヤコブ4:6-10）。ペテロは、ヤコブの言葉の最後を補強している。"神の力ある御手のもとにへりくだり、
、やがて神があなたがたを高くしてくださいます。(第1ペテロ5:6、7）。神はあなたがたを顧みて、あなたがたの謙遜な叫びを聞いてくださる。

主の威厳

キー・ヴァース「主は王である！主は王である。本当に、主は威厳に包まれ、力強く武装しておられる。世は堅く立ち、揺らぐことはない。"
詩篇93:1

厳選された聖典
詩篇93:1-5

私たちのレッスンは、素晴らしい黙想のための舞台を提供する。私たちの神を定義する資質にはどのようなものがあるだろうか？神の性質に関するさまざまな考えをふるいにかけようとすると、高尚な洞察もあれば、そうでないものもある。ある人は、神についての彼らの認識は、神がはるかに大きな肉体的存在を体現していることを除けば、人間と同じであるという印象を私たちに残す。私たちの創造主は、私たち堕落した種族に顕著な性質を持っていると誤って非難されてきた。虚栄心、恣意性、残酷さ、無

神経さ、その他の間違った属性が彼に重ねられてきた。そのような非難は見当違いである。

本日のキー・ヴァースではまず、神の本質を示す証拠のひとつが、神が "支配している"ということである。神の支配はすべてを支配しているが、一時的ではあるが、罪と死の現在の許可のように、神の強大な力の行使を差し控えている領域もある。彼は物理法則を支配している。無から宇宙の広大さを生み出した。私たちが知っている宇宙の最も小さな構成要素でさえ、力と相互作用の複雑な法則によって制御されている。

詩篇の作者ダビデは「天は神の栄光を宣言する。天は神の栄光を告げ知らせる。天は日毎に語り続け、夜毎に神を知らしめる"（詩篇19:1-3）。(詩篇19:1-3）。夜、天の川を見上げる私たちの立場で、銀河系の美しさに驚かされたことがない人はいないだろう。天は私たちを魅了し、鼓舞する。雄大な山々、広大な海、実り豊かな平原、輝く森が私たちの周囲に響き渡り、神の御業に対する感謝の念を抱かせる。来る日も来る日も、夜な夜な、天と地の美しさは、誰もが理解できる言葉で人類に語りかけてくる。

そのメッセージとは、「神は実在する」というものだ！

"威厳をまとっておられる"。これも神の本質を示す証拠である。　　、私たちはそれを　　"威厳"と呼ぶ。同様に、悪に対する偉大な道徳的勝利も、荘厳と解釈するのが正しいだろう。威厳は、私たちの心を高尚な思考や感情へと駆り立てる。神は威厳をまとっておられる。そのことを黙想することは、神の御姿をより深く理解することにつながる。「神は愛である。(第1ヨハネ4:8）。その愛は、神の威厳への感謝を呼び起こす。神は、私たちがこれまでに知っている最高の人々よりも、あらゆる面で偉大な方なのだ。ルカが記したイエスの言葉は、神の荘厳さについて鋭い洞察を与えている。「さて、ある支配者がイエスに尋ねた。そこでイエスは彼に言われた。誰も善い者はいない。(ルカ18:18-19）。イエスは、私たちが善であると認識するすべての典型であったが、善の創造者である神だけが真に善であることを認めたのである。

神の本質を示す第三の証拠は、神が永遠であるということだ。何十億年という歳月が流れても、神を脅

かすことはない。なぜなら彼は時間の創造主だからである。日を追うごとに、エホバの威厳をよりよく理解できるように。

慈悲の神

キー・ヴァース「主は憐れみ深く、情け深く、怒るのにおそく、ゆるぎない愛に満ちておられる。詩篇103:8

厳選された聖典
詩篇103:1-14

堕落した人間の本性には、神への恐れを生む倒錯がある。神は気まぐれで、復讐心に燃え、人間の家族に対して敵対的であり、すぐに裁き、すぐに罰する。私たちのキー・ヴァースは、そのような考え方の誤りを払拭し、神は憐れみ深く、恵みに満ち、怒るのが遅い方だと語っている。

詩篇103篇は癒しのバームであり、私たちの思考を曇らせるかもしれない神への恐れを追い払う。主の民は、この詩篇を定期的に読み、考えることをお勧めする。詩篇の作者ダビデの歓喜に満ちた口調に注目してほしい。主が私にしてくださる良いことを決

して忘れませんように。主は私のすべての罪を赦し、私のすべての病をいやしてくださる。主は私を死から贖い、愛と優しい慈しみで私を覆ってくださる。主は私の人生を良いもので満たしてくださる。私の若さは鷲のように新たにされる！」1〜5節

これは、創造主に対する真の、そして霊的に健全な見方を示している。彼は寛容である。恨みを抱かない。「私たちを非難し続けることもなく、いつまでも怒り続けることもない。私たちの罪のすべてを罰することもなく、私たちにふさわしいように、私たちに厳しく接することもない。主を畏れる者に対する主のゆるぎない愛は、地の上にある天の高さのように大きいからです。私たちの罪を、東が西から遠く離れているように、私たちから取り除いてくださったのです」9-12節。

使徒パウロも同じように神を評している：「それは、わたしがあなたがたに手紙を書いたのは、わたしが来たときに、わたしに最も大きな喜びを与えるべき人たちから、悲しまれないようにするためです。私の喜びは、あなた方が喜んでくれることによってもたらされることを、あなた方は知っているはずです。私は苦悩の中で、心を痛め、多くの涙を流しな

がら、あの手紙を書いた。あなたがたを悲しませたくはなかったのですが、私があなたがたをどれほど愛しているかを知ってもらいたかったのです」。(第2コリント1:3-4）。私たちの創造主は"憐れみの父　　"と認められている。"憐れみ"の複数形に注意。神の憐れみの現れは、
、多くの色合いと形で現れる。彼はまた、すべての慰めの神として識別される。神に人生を捧げている人々は、神の複数の憐れみと深い慰めを個人的に体験したことを証明できる。

ダビデの詩篇には神の憐れみというテーマが繰り返し出てくるが、それはおそらく、バテシバとの姦淫とウリヤの殺害という大罪に触発されてのことだろう。詩篇51篇の苦悩を考えてみよう。あなたの大いなる憐れみのゆえに、私の罪の汚れを消し去ってください。私を罪の汚れから洗い流してください。私を罪から清めてください。私は自分の反逆を認めます。それは昼も夜も私を悩ませます。あなたに対して、そしてあなただけに対して、私は罪を犯しました。あなたの言われることは正しいと証明され、私に対するあなたの裁きは正しい」1-4節

親愛なる読者の皆さん、私たちが憐れみの神を礼拝していることに気づくことで、同じような慰めを得ることができますように。「父がその子らに親切であるように、主はご自分を敬う者に親切である。主は、私たちが何でできているかを知っておられ、私たちがちりであることを覚えておられる。...主を敬う者には、主の愛はとこしえに続き、主のいつくしみは、その契約に忠実で、その命令に忠実に従う者の代々に至るまで続く。"詩篇103:13-18

永遠の王国

キー・ヴァース「あなたの国は永遠の国です。あなたはすべての世代にわたって支配される。"
詩篇145:13

厳選された聖典
詩篇145:10-21

私たちの重要な聖句は、神の全能を認めている。今日の世界を見ても、神を知ろうとする人は多くない。神の御心に従って神的な生き方をしようと努力している人は、さらに少ない。人間の無関心は、神の王国は永遠であり、神の支配は世代を超えて続くという聖書の主張を否定するのだろうか？私たちは「否」と答える。聖書の神は永遠である。人間の一生は短いので、永遠の真の範囲を完全に見極めることはできない。一方、神は永遠という巨大さにまったく抵抗がない。預言者イザヤは、神のことを「永遠に住む高く聳え立つ方」と呼んでいる。イザヤ57:15

詩篇は、永遠のお方である神について語っている！山々が生まれる前から、大地と世界をお生みになる前から、初めから終わりまで、あなたは神です。"
詩篇90:1-2

私たちが言いたいのはこういうことだ：神の計画は失敗していない。神は被造物を完全に支配しておられる。もしそうなら、なぜ世界には多くの苦しみと混乱があるのか？なぜ戦争が絶えないのか？なぜ人々は病気になり、死んでしまうのか？神は限られた時間の中で、罪が人の間に大混乱をもたらすことを許したのだ。ソロモンはこう書いている。「私は、天の下で行われるすべてのことを、知恵によって研究し、探求することに心を注いだ。神はなんと重い重荷を人間に負わされたことか！私は太陽の下で行われるすべてのことを見たが、それらはすべて無意味であり、風を追いかけるものである」
（伝道者の書1:13-
14）。ここで重要なのは、"神が人類に負わせた重荷
"という言葉である。人間の家族は、罪の影響を経験する中で、善と悪を知るために苦しめられている

。(創世記3:22）。やがて、創造主は人類の災難に終止符を打ち、栄光の永遠の王国を築かれる。

そうすれば、聖書の約束は見かけの誇張ではなく、現実になる。「主よ、あなたのすべてのわざはあなたをほめたたえ、あなたの忠実な民はあなたをほめたたえます。彼らはあなたの王国の
栄光を語り、あなたの力を語る。そうすれば、すべての民は、あなたの力ある行いと、あなたの王国の輝かしい輝きを知ることができる。すべての被造物は、とこしえに、主の聖なる御名をほめたたえよう。"詩篇145:10-12-21

これは神の御子キリスト・イエスの働きによって成し遂げられる。「私たちのために子が生まれ、子が与えられる。そして、彼は、すばらしい助言者、力ある神、永遠の父、平和の王子と呼ばれる。その政治と平和の偉大さには終わりがない。彼はダビデの王座とその王国の上に君臨し、その時からとこしえまでも、正義と義をもってこれを確立し、維持する」。イザヤ書9:6-7

「こう祈りなさい：天にいます私たちの父よ、御名があがめられますように、御国が来ますように、み

こころが行なわれますように。(マタイ6:9-10）。私たちは神の永遠の王国のために祈り続けよう。